

コード	205020306
記入日	H21.6.8

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司貴英
担当者	道越昭光

## 事務事業事後評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	普通河川妙田川河床整備事業	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	3
基本事業コード	20502	基本事業名称	治山・治水対策の推進	目コード	1
事務事業コード	2050203	事務事業名称	単独事業費(河川)	細目コード	917
関連計画	新上五島町振興計画	法令・条例規則等	河川法		

<b>計画(PLAN)</b> ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町が管理する河川の周辺住民			(対象指標1) 宮田地区				
(対象2)			(対象指標2)				
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		改良延長L=83.3m 河床工 L=102.4㎡ 事業費1,075千円	***** 整備延長	***** 83.3m	***** 100%	改良延長/計画延長	***** 平成20年度
			①	(達成率分析) 計画どおり達成できた。			
			②	(達成率分析)			
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
			***** 進捗率	***** 1,075千円	***** 100%	改良率/計画改良率	***** 平成20年度
河床等が浸食され危険な状況であるため、河床を整備することにより、周辺住民の安全を図る。			①	(達成率分析) 本事業のみで成果が分析できないため、基本事業計画において達成率等の分析を行うこととする。			
			②	(達成率分析)			

<b>実施(DO)</b> ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。						
	単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	①	83.3	83.3		83.3	83.3
	②					
成果指標	①	%	100	100	100	100
	②					
総事業費C(A+B)	千円	1,775	1,775		1,775	1,775
直接事業費A	千円	1,075	1,075		1,075	1,075
人件費B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
	その他	千円				
一般財源	千円	775	775		775	775

**評価(CHECK)** ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	河川管理者である町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	河川の安全性及び利便性については、普遍的なものであり町が行うべきである。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	河川周辺住民とすることで適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	河川周辺住民の利便性及び安全性が確保された。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	計画どおり実施された。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	河川の機能及び安全性が確保できない。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	単一の事業であり他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっておりできない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	現在の人員を削減することは事業推進上できない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	河川管理者が行うべきもので受益者負担は発生しない。

**改善(ACTION)**

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点  なし
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策  計画どおり目的を達成した。
2次評価	今後も河川災害の防止、生活環境の向上を図り、地域住民の安全・安心の確保に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。